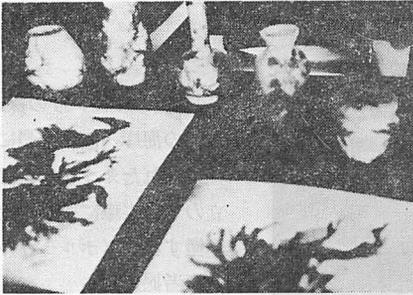


ナザレの保養地、漁村を通過してしばらくすると São Martinho do Porto という漁村に着く。ここは湾内の奥にある漁村であるが、この辺一帯の海岸には驚いたことに見渡すかぎり一面にオゴノリが多量に打揚げられて堆積している。之を二頭立の二輪牛車に大きな鋤でつまみあげて採取する。これも全部日本に輸出されるとのことである。

モナコ海洋博物館の海藻展示

瀬 木 紀 男*

T. SEGI : Algal exhibit at Monaco Oceanographic Museum



モナコ海洋博物館の海藻展示
前面には紙に附着させた腊葉標本を
ならべてあるが、後方には各種の花
瓶に海藻類を貼付し美しく展示され
ている。(モナコにて筆者撮影)

筆者が有名なモナコ海洋博物館を先年訪問した時、海藻関係について、本邦では未だ見られない興味ある展示があったので御紹介する。即ち紙上につくられた普通の腊葉標本の展示の他に、ここでは、写真に示す如く種々の形をした陶磁器製の白色の花瓶に、アオノリ *Enteromorpha*、アサクサノリ *Porphyra*、イトグサ *Polysiphonia* を表面に夫々附着させて美しく見せている。ヨーロッパ式のいかにも芸術的な着想として興味深かった。

カーン女史の来学

瀬 木 紀 男*

T. SEGI : Mrs. KHAN LEWMANOMONT's visit to Prefectural University of Mie

タイ国バンコクの国立カセサ大学水産学部講師カーン女史 (Mrs. KHAN LEWMANOMONT) が昨年10月中旬ユネスコから招聘されて藻類研究のため新装なった本学を訪れた。

* 三重県立大学水産学部 (津市江戸橋二丁目)